

学会記事

【第11回総会】（2018年6月16日，駒澤大学深沢キャンパス2-1教場，出席者58名）

呉羽正昭庶務委員長の開会の辞のあと，矢ヶ崎典隆会長より挨拶があった。次に伊藤徹哉会員を議長，鈴木修斗庶務委員に書記を委嘱し，総会を開始した。

I. 会務報告について

松井圭介常任委員長より会員数（2018年6月1日現在，372名），第10回大会の開催，第23回例会の開催，機関誌「地理空間」第10巻1～3号の刊行，ニューズレター（第28～30号）の発行，設立10周年記念行事の検討および準備，ホームページおよびメーリングリスト（jags-ml）の運営，日本学術会議協力学術研究団体の認定（2013年9月24日），および2018年度学会賞について報告があった。会務報告に関して質問・意見はなかった。

[地理空間学会学会賞]

特別賞：碓井照子

受賞対象：

碓井 照子「地理教育で学ぶ持続可能な社会づくり：日本学術会議の提言と新たな必修科目」科学88(2), 134-138, 2018.

碓井 照子「新科目「地理総合」における地図/GISリテラシー教育の在り方」地図54(3), 7-24, 2016.

碓井 照子「阪神淡路大震災における人的被害の地域分析」奈良大地理(16), 72-83, 2010.

碓井 照子「阪神淡路大震災の復旧・復興と奈良大学防災調査」総合研究所報(15), 1-20, 2007.

碓井 照子「GISによる奈良町の3次元景観モデル」歴史地理学48(1), 61-68, 2006.

碓井 照子「地理情報科学からみた地図学の現状と将来」地図43(4), 25-32, 2005.

碓井 照子「GISにおける最近の動向と展望」情報通信学会誌21(4), 83-90, 2004.

碓井 照子「GIS革命と地理学：オブジェクト指向GISと地誌学的方法論」地理学評論76(10), 687-702, 2003.

碓井 照子「都市とGIS」都市研究(3), 61-70, 2003.

碓井 照子「活断層からの距離別地震被害のGIS分析－阪神・淡路大震災における西宮市の建物被害と地下埋設管被害－」第四紀研究39(4), 375-388, 2000.

ほか多数

学術賞：山下 潤

受賞対象：

山下 潤『スウェーデンの環境都市政策』古今書院, 164p., 2015年2月.

学術賞：山下琢巳

受賞対象：

山下琢巳『水害常襲地域の近世～近代－天竜川下流域の地域構造－』古今書院, 277p., 2015年1月.

奨励賞：高橋昂輝

受賞対象：

TAKAHASHI, Koki. Toronto's Little Portugal: gentrification and social relations among local entrepreneurs. *Urban Geography* 38(4) : 578-605. April, 2017.

高橋昂輝. 北米都市の業務改善自治地区 BID—トロントにみるローカルガバナンスとエスニックブランディング—. *地理空間* 9(1) : 1-20, 2016年6月.

TAKAHASHI, Koki. Little Portugal and the changing spatial structure of the Portuguese community in Toronto. *Geographical Review of Japan Series B* 88(1) : 1-22, February 2016.

奨励賞：太田 慧

受賞対象：

太田 慧. 東京臨海部における港湾再開発と土地利用変化の特性—東京都港区海岸地区を事例に—. *地学雑誌* 124 : 525-544, 2015年8月.

太田 慧・菊地俊夫. 富士山周辺地域における農業的土地利用変化とその地域性. *地学雑誌* 124 : 1061-1084, 2015年12月.

II. 2017年度決算報告・監査報告について

山下亜紀郎会計委員長より2017年度の一般会計および特別会計の決算案が提示され、その収支について田林 明会計監査、淡野明彦会計監査より適正であると承認したことが報告された。2017年度決算案は異議なく承認された。

III. 2018年度事業計画について

松井圭介常任委員長より2018年度事業計画について、「地理空間」第11巻1～3号の刊行、第12回大会の開催（2019年6月 場所未定）、設立10周年記念行事の開催（シンポジウム、内容・場所は未定）、設立10周年記念事業実施（「地理空間」のJ-stage掲載）、例会の開催、学会賞や若手研究者助成による研究奨励、ニューズレターの発行（発表要旨特別号の発行を含む）、ホームページとメーリングリストの管理・運営が提案された。2018年度事業計画は異議なく承認された。

IV. 2018年度予算案について

山下亜紀郎会計委員長より2018年度予算案について、収入と支出に関する説明がなされた。会費の納入期限と除籍に関する質問1点がなされた。地理空間学会には除籍規定がなく、会費を3年未納することで会誌「地理空間」の郵送をストップすることで対応していることが説明された。2018年度予算案は異議なく承認された。

V. 役員・専門委員会の構成について

松井圭介常任委員長より役員および専門委員会（2018年7月1日～2020年6月30日）の構成員について提案がなされた。役員および専門委員会構成員は異議なく承認された。

会 長：菊地俊夫（首都大学東京）

会計監査：田林 明（筑波大名誉）、淡野明彦（奈良教育大名誉）

常任委員：松井圭介（常任委員長、筑波大）、呉羽正昭（庶務委員長、筑波大）、山下亜紀郎（会計委員長、筑波大）、森本健弘（集会委員長、筑波大）、堤 純（編集委員長、筑波大）

評 議 員：秋山千亜紀（筑波大）、井田仁康（筑波大）、伊藤徹哉（立正大）、小口千明（筑波大）、小野寺 淳（茨城大）、加賀美雅弘（東京学芸大）、兼子 純（愛媛大）、川瀬正樹（広島修道大）、久保倫子（筑波大）、呉羽正昭（筑波大）、小林岳人（千葉高）、篠原秀一（秋田大）、須山 聡（駒澤大）、高橋重雄（青山学院大）、堤 純（筑波大）、中西僚太郎（筑波大）、中村周作（宮崎大）、中村理恵（前橋高）、仁平尊明（北海道大）、根田克彦（奈良教育大）、平岡昭利（下関市大名誉）、藤永 豪（西南学院大）、松井圭介（筑波大）、丸山浩明（立教大）、村山祐司（筑波大）、森本健弘（筑波大）、山下亜紀郎（筑波大）、山下清海（立正大）、山下宗利（佐賀大）、吉田道代（和歌山大）、若本啓子（宇都宮大）

<専門委員会>

庶務委員会：呉羽正昭（委員長）、秋山千亜紀（副委員長）、鈴木修斗、中川紗智、橋爪孝介、吉沢 直

会計委員会：山下亜紀郎（委員長）、麻生紘平、猪股泰広、喜馬佳也乃、栗林 慶

集会委員会：森本健弘（委員長）、遠藤貴美子、川添 航、坂本優紀、佐野浩彬、矢ヶ崎大洋

編集委員会：堤 純（委員長）、須山 聡（副委員長）、橋本暁子（副委員長）、飯塚 遼、井口 梓、石井久生、磯野 巧、伊藤徹哉、大石貴之、片岡博美、久木元美琴、小島大輔、佐藤大祐、田中耕市、淡野寧彦、仁平尊明、林 琢也、平井 誠、福本 拓、藤田和史、藤永 豪、山本健太、吉田道代

（書記）：岩井優祈、小室 讓、平澤賢剛、本多広樹、遊佐 暁

学会賞選考委員会：（※2018年7月1日～2019年6月30日、1年間）

村山祐司（委員長）、井田仁康、岩間信之、中村周作、仁平尊明、横山 智

Ⅵ. その他

堤 純編集委員長より、「地理空間」J-stage 掲載に伴う学会ホームページの位置づけについて説明がなされた。今年度以降、学会ホームページには「地理空間」の「要旨」や「書評」などを掲載することとし、論文自体はJ-stage に掲載することが説明された。具体的には、各巻第1号が発行された際には学会ホームページに各論文の「要旨」のみを掲載し、第2号が発行された時点で第1号各論文の本文をJ-stage に掲載すること、第3号発行時に第2号および第3号の論文本文をJ-stage に掲載することが説明された。

以上で議事を終了し、伊藤議長による書記の解任と議長の解任が行われた後、呉羽庶務委員長の閉会の辞をもって、総会は終了した。

【大会報告】

第11回大会（2018年6月16日，駒澤大学深沢キャンパス2-1教場，出席者70名）

・一般口頭発表

竹原繭子（筑波大・院）：最適経路の実態を考慮した車椅子利用学生にとっての授業移動の効率化の研究－筑波大学筑波キャンパス内を事例に

井上 孝・井上 希（青山学院大）：「全国小地域別将来人口推計システム」を用いた小地域の無居住化リスクの検証

平澤賢剛（筑波大・院）：住民参加型活動からみた環境意識形成から環境配慮行動までのメカニズム－千葉県柏市柏の葉地域を事例として

小林 愛（(株)ナビタイムジャパン）・波瀲郁代（(株)JTB 総合研究所）・早野陽子（JTB 総研）・小竹輝幸（ナビタイム）・藤澤政志（ナビタイム）・三ツ橋明子（JTB 総研）・中根 裕（JTB 総研）・エドワード トゥリプコヴィッチ 片山（JTB 総研）：生活文化を観光資源とする交流まちづくりの調査研究

渡邊瑛季（うつのみや市政研究センター）：栃木県宇都宮市におけるグリーンツーリズムの受入要因と地域的差異

白坂 蕃（東京学芸大・名誉）・渡辺悌二（北海道大）：中国青海省最北部の岷堡鎮における牧畜と共有地問題

・シンポジウム「世界遺産の創造と場所の商品化」

オーガナイザー：松井圭介（筑波大）

松井圭介（筑波大）：「潜伏キリシタン」は何を語るか－「長崎の教会群」をめぐる世界遺産登録とツーリズム

須山 聡（駒澤大）：奄美大島における世界自然遺産に対する住民の意識と実践－「言葉の受容」をキーワードに－

卯田卓矢（名桜大）：外国人観光客における聖地の消費と創造－世界遺産・斎場御嶽を事例として－

呉羽正昭（筑波大）：ヨーロッパにおける世界遺産とツーリズム－オーストリア・ハルシュタットの事例

堤 純（筑波大）：オーストラリアにおける自然遺産の登録前後の変化

・ポスター発表

芳賀幹大（筑波大・院）：場所イメージ創出と活用に関する考察－「小京都」山口を例に

薄井 晴（筑波大・院）：1990年代以降の京都市中心部における大型小売店の分布変化とその影響

河合昭宣（筑波大・院）：青果物流通の空間的パターンに関する分析－京阪神都市圏の中小小売店を対象として－

八木芙蓉（筑波大・院）：流山おおたかの森における街づくりと子育て支援

平内雄真（筑波大・院）：郊外住宅地の年齢別人口構成と住宅構造の変容－千里ニュータウン12住区を事例として－

海老沢裕徳（筑波大・院）：公共交通不便地域における自治体関与交通の現状の分析とその将来性について－茨城県常陸太田市・常陸大宮市・城里町を事例として－

・巡検（2018年6月17日）

「カフェ・田園都市・町工場－大田区周辺の都市開発の100年」（参加者35名）

オーガナイザー：吉沢直・岩井優祈・川添航・喜馬佳也乃・鈴木修斗・坂本優紀（筑波大・院）

【地理空間学会会則】

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL：http://jags.ne.jp/

【編集委員会からのお知らせ】

2018年4月～2018年9月：未受理原稿および左記期間に投稿された4本の原稿について閲読結果をもとに検討し、これらのうち「リサーチ・ペーパー」3編、「フォーラム」1編を受理した。

【編集委員会からの J-Stage 公開のお知らせ】

機関誌『地理空間』の Web 上での公開方法が変更になりました。「論説」や「リサーチ・ペーパー」などの論文はすべて J-Stage 上 (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jags/-char/ja>) で公開することになりました。なお、次号の掲載までの「最新号」については、各論文の要旨のみ地理空間学会ホームページ上 (<http://jags.ne.jp/>) で公開し、最新号の刊行と同時に、前号の全文を J-Stage 上で公開いたします。なお、書評や学会記事、例会要旨などについては、引き続き、本学会ホームページ上でのみ公開いたします。

【次号以降の投稿について】

第12巻1号は、2019年6月20日の発行を予定しております。第12巻1号の原稿については随時受け付けておりますが、第12巻1号に掲載されるには、2019年3月末までに受理が出ている必要があります。内容は最新の論争から時事性、トピック性の高いテーマ、丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員皆様の活発な寄稿をお待ちしております。

本学会の活動を幅広く認知してもらうために、会員の皆様の大学研究室や大学・高校の図書館におきまして、会誌『地理空間』の定期購読を是非ご検討のほどお願いいたします。ご購入いただける場合には、編集委員会 (geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp) までお知らせください。

【オンライン版（電子版）の3号の刊行について】

2016年度総会において、現行の年2号の紙媒体での印刷・発行に加え、オンライン版（電子版）の3号（年度末発行）を新たに発行することが決まり、すでに9巻3号（2017年3月）、10巻3号（2018年3月）を刊行しました (<http://jags.ne.jp/archives/1473>)。現在、11巻3号を編集中です。オンライン版（電子版）の3号の概要は以下の通りです。

- ・シンポジウム報告を含む特集論文は、各巻3号に掲載する。
- ・特集論文の企画代表者は学会員に限る。ただし、各論文の著者については、会員か非会員かは問わない。
- ・特集論文の企画は、毎年度9月末日までに企画代表者が事務局（編集委員会）へ申し出る。
- ・企画代表者は、編集委員会にゲストエディターとして加わり、当該特集論文の査読・編集に携わる。
- ・特集論文の掲載・発行にかかる実費相当額（2,000円程度／頁）は、企画代表者（または論文の著者）が負担する。
- ・各巻3号は、発行後速やかにJ-Stage上（<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jags/-char/ja>）で公開する。紙媒体の1、2号は、これまで発行から半年後に学会HPで公開していたが、これを変更し次号発行時に学会HPで公開する。すなわち、各巻1号は2号発行時、2号は3号発行時に学会HPで公開する。
- ・3号の印刷物（有償）を希望する会員は、個別に事務局へ相談する。

【投稿規程 & 執筆要項】

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL： <http://jags.ne.jp/>

【新入会員】（2018年5月11日から2018年11月22日）

伊藤渚生（MS&AD インターリスク総研㈱）

豊田紘子（筑波大・院）

（会員数：372名、2018年11月22日現在）